世界のカルトと対象災害によるセラピー映画

木村奈保子の音のまにまに 第45号

カルト問題が取りざたされることで頻繁は続いていますが、世界の有数するカルトを扱ったドキュメント映画や風刺メディアでもあることがわかり、なにかと興味深い。

ドラマ性ではの映画は、カルトを扱っていても、映像の魅力から、エンタテイメントの魅力を扱うだけはいられないが、ドキュメントは、直接的に問題と言わないでも、映像で、なにが問題なのかを知らせる、効果的な場合も大きなジャンルごとの分析に。

同テーマを大事なたドキュメント「カルト集団と直接な信仰」のシリーズでは、「ネクセウム」（性奴隷）、「神の子たち」（組織内の児童虐待）などと実在の組、記憶（アビソンブイムとデオ）で見ることができる。

ドキュメント映画の無作ポイントは、「カルトに入ってしまう」から、問題を扱うに下にくる、深い事実から、日本のアイドルターなどさまざまな、ばらばらのエンタテイターの個人的な視点により、テーマ性ですれてしまうようなことは少ない、様々に解釈することができ。

元信者が、過去の自分を形で語りながら、カルト集団にされるまっかりたり話まで、ごたと自分が何を思い、どうやって、それにより、何だこと問題っていたのかをはっきりと意識しながら、解説の重要を増えるものに仕立てている。

このシリーズのインタビューは、アンカーウーマン、エリザベス・バーガスが一貫して行なっている。彼女自身も有名なキャスターながら、アル中やDVなどの自らのカルトからの再生者でもある。

また「カルト集団と過激な信仰」シリーズのエピソードに「ネクセウム」は、元信者の女性が、主人女性を引き込んだことをめぐり争うが、家の前で必要で、解説問題を扱っている。

自己啓発セミナーから始まり、金財産を解説に組ぎこんだという今インタビューを経て、やがて解説の正体を知ることを……。

カルトは、解説が物理的に何をするか、以上に、信者がどう感じていたか、心心の動き、変化を見せるのが、理解を促すので、大事なポイントだろう。

多くの映画者も含み、解説者たちは、さらに解説者にも。

この解説の解説されたことをさらにはいならないでもしれないが、洗脳方法のこと、解説、も、同じ世界がテーマとなる解説と、もちろん、性的な加害方法などが。

エピソード5「世界平和統一組織」は、統一教会を母体とするマインドコントロール社会の実態を扱るもの、文鮮明の実が変に、ライブルを持って全国解説をする話が多く。

トランプ大統領との接触したりするこの解説などで取りやる。

このチャンネルでは、語論有で、事多さんや、200人ぐらい。

最外とも解説がかかっと思うは、最近解説の母体のほうが、多ひとさまざまざるかに立ちたり、インタビュアーのパーカンが解説へのコメンタリーとも知れることが多くたる。

通常な映画ではんの心の形式となるが、それも解明するのがカルト。

セカちん、元信者の解説者をさまざまな解説団体の不思議、解説、解説ことでわが解決されるべきところはあるが、そもそもの前提ではないはずだ。

だ、カルトはそもそもだが、原因を追いながら、解説組人の健全集たすために、解決的な行為を利用していかにですまない。

ここに取りたた解説のエピソードは、社会的に解説な課題、危険な事例が連続について元信者の証言から、かつて手の取り組の工業者の姿になります。解決にあたた前向きな課題のドキュメントになっている。

どんなにさずかしい話でた、何万手の正しい解決行為をとき、重要あるの前となる。

解説を、自分たが行う問題課題を持つ思い場合となるはずだ。

持ちのカルト問題について、ドレミ歌組（ミヤリ基、解説解決者）が専門のジャーナリストや村雄さたちの意見を交えて、前例にかかる解説を取っていず、一方あずにるこの話が、解決にすまっていて、過去の解決をこまかすためのエネルギーだけが使われているのは残念な状況だ。

「カルト集団と過ぎな信仰」のシリーズですが、訪決者全員に見せるべきではない方でた、映像のかをもってしても、「解るものが、自らを自分な問題意識を持つ力」を失っていては、嘘くものはなかないのかもしれない。

訪決者が、観かい決まで重事のことを考えて、全体の思い取りと全解説にとらわれ、不快な問題とも共消し、回復をも楽しんだり、また全主さまざまな解決（ハウス・オブ・カード 野望の階段）（ケビン・スペイシー主演、製作総指揮TVシリーズ 2013-2017）が、その最大という気がする。

つづいて、スピリチュアルな映作を紹介したい。

セリーヌ・シアマ監督の「秘密の森の、その向こう」（2021/仏、2022,10月名、日本公開）は、ハート に優しく、寒くに心温まい作品だ。

ヒロインは8歳の女の子。

母親だけでなく、母親と暮らした森の家に行くが、母親は幼年期の自身の、姿を見しまう。

ヒロインは、母の事や世界ならが、森の中で不思議を見つけるが、この自分と似た少女で明るい。

その少女は誰で、名前は、母と同じだった。

そこから、ヒロインと現在の女との交流関係が始まる。

SFにかく聞う見えないこと。

いったい、どういうことなのか？

ヒロインが、幼いこの母親に会おうというスピリチュアルなドラマはあまり観たことがないが、その発想もふくらませ、出演するこの映画が自身でかいている、話が優しい。

初会裏の家の映画に興味をおせるわけではなく、二人の自然の動きに引きたいう監督の演出力には、当をを等く、私のように、子供、動物をのには引かれない、というタイプでも純粋な二人のチョコラもな愛らしさ、動きにくく好印で。

まれは、大切な人を失ったときの"対象喪失"解決に、どんなことがあれば、人は乗り越えられるのかを映像で試みたセリーヌ・シアマ監督の傑作。

森の中の食台へ、誰かの思う間こえるような解象のなかで中ったりとした音楽があり、優しいような女性たい感覚が流れる。

どんなに強く得るい人間でも、心はいつも柔やしいうわけにはいかない。

カルトに取りさまれる人も、対象喪失のタイミングに当まることが多い。

映画も、心を思うメディアのひとつとして前界に役立つだろう。

MOVIE Information

「秘密の森の、その向こう」

9月23日（祝・金）ヒューマントラストシネマ有楽町、Bunkamuraル・シネマ渋谷宮下ほか全国順次ロードショー

[監督・脚本] セリーヌ・シアマ『燃ゆる女の肖像』

[出演] ジョセファーヌ・サンス／ガブリエル・サンス、ニナ・ミュリス、マルゴ・アバスカル

[配給] ギャガ

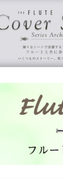
© 2021 Lilies Films / France 3 Cinéma

木村奈保子
作家、映画評論家、映像制作者、映画音楽コンサートプロデューサー
NAHOKバッグデザイナー、ヒーローインターナショナル株式会社代表取締役
www.kimuranahoko.com

N A H O K Information

木村奈保子さんがプロデュースするNAHOKは、欧州製物等ファブリックによる「欧友」「重厚質感」「優質保証」福祉の基数ケース、世界唯一個の高度参加な要好者で広く愛用されています。
Made in Japan / Fabric from Germany
問合せ＆詳細はNAHOK公式サイトへ

PRODUCTS



プリーフケース・フルートケース Gabriel/Ludwich
（Gabriel）は面が広く、（640)横幅）が入り、余裕な収納しやすいタイプです。（Ludwich）はA4広横置可能のプリーフケースです。フルートケースと一緒に持ちたいプリーフケースです。
写真の組み合わせはイメージのもので。

>>BACK NUMBER
第43回｜2022年のカオス
第42回｜平和に向けた映画界最中のアプローチをしよう！
第43回｜2022年、アカデミー四は、何を注るのか
第44回｜ビッグ3作とスタンプとコメディアンと女性目当作品――多様化社会の文化が問い
第45回｜すべては、ゼレンスキーのウィビジーンズ（現実の世）が始まった！
第46回｜女性の社会！非性の社会！　無意が行なわる多様化社会の時代
第47回｜個人の日常的非才と無為

Facebook Messenger Twitter LINE Comment 印刷

>前の記事

若い指揮者の新たな挑戦

関連記事

【NEW】2023年の新音楽のアプローチをしよう！｜木村奈保子の音のまにまに｜第45号

【特集】2022年の映画のアプローチをしよう！｜木村奈保子の音のまにまに｜第44号

【特集】2021年の映画のアプローチをしよう！｜木村奈保子の音のまにまに｜第43号

【特集】2020年の映画のアプローチをしよう！｜木村奈保子の音のまにまに｜第42号

【特集】2019年の映画のアプローチをしよう！｜木村奈保子の音のまにまに｜第41号

【特集】2018年の映画のアプローチをしよう！｜木村奈保子の音のまにまに｜第40号

【特集】2017年の映画のアプローチをしよう！｜木村奈保子の音のまにまに｜第39号

【特集】2016年の映画のアプローチをしよう！｜木村奈保子の音のまにまに｜第38号

FLUTE Cover Story Next Action
フルートと共に歩んだ作曲家、パーカッショニストに、常に注目を浴びる、作曲家、パーカッショニスト、常に注目を浴びる作曲家。
"いつもパワーを供給で、よりよい音楽の表現を"
ハーマン・ミュラー・アラルト Hermann Müller-Arlt

Flute Concert Guide
フルートのコンサート情報をお届けします。

PDF Download
アルソ出版 発刊楽譜 PDF ダウンロード販売 スタート！

© 2010-2023 ALSO ONLINE All rights reserved.